

学 校 管 理

第1節 学校職員定数

1 小中学校の概況

公立小中学校における学校数は道路の改善によって通学が容易になったことにより、適正規模の学校に統合して、教育効果の向上を図った。一方標準法の改正により6学級の分校となった学校では施設の充実改善につとめ、将来も学校統合の目安すのたない場合は独立校となった学校もあり、小学校においては本校数で4校の増、分校で25校の減となった。

中学校においては本校数9校の減、分校で1校の減となった。また福島市に市立の養護学校（精薄児対象）が設置された。

小 学 校 数

	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年
本 校 数	557	560	563	565	566	572	576
分 校 数	308	299	288	283	274	257	232
計	864	859	851	848	840	829	808

中 学 校 数

	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年
本 校 数	365	363	349	341	332	328	319
分 校 数	26	18	15	15	13	13	12
計	391	381	364	356	345	341	331

市立養護学校 1 校

	34 年	35 年	36 年	37 年	38 年	39 年	40 年
児童数	346,565	329,913	317,218	298,615	280,429	266,632	254,668
児童数指数	105.1	100.0	96.2	90.5	85.0	80.8	77.2
学級数	8,130	7,987	7,722	7,485	7,380	7,571	7,396
学級数指数	101.8	100.0	96.7	93.7	92.4	94.8	92.6

学級編制種別学級数

	34 年	35 年	36 年	37 年	38 年	39 年	40 年
小学校	7,633	7,491	7,210	6,962	6,886	7,160	7,000
単式	428	423	443	458	421	331	303
複式	33	32	30	27	23	17	16
単級	36	41	39	38	50	63	80
特級							

4 中学校生徒数・学級数の推移

中学校の生徒数は昭和37年度に最高となり、その後は小学校と同様に漸減している。学級数もまた同じであるが、学級編制基準が1学級48人となったため学級数の減少は比較的少ない。

	34 年	35 年	36 年	37 年	38 年	39 年	40 年
生徒数	118,761	135,860	161,070	177,276	172,840	168,142	158,042
生徒数指数	87.4	100.0	118.6	130.5	127.2	123.8	116.3
学級数	2,836	3,168	3,616	4,019	3,981	4,017	3,853
学級数指数	89.5	100.0	114.1	126.9	125.7	126.8	121.6

40年度における学級数別学校数（小学校）

	1～5 学級	6～11 学級	12～18 学級	19～24 学級	25学級 以上	合 計
本 校 数	16	309	167	37	47	576
分 校 数	228	4				232
計	244	313	167	37	47	808
構成比	30.2%	38.7%	20.7%	4.6%	5.8%	100.0%

40年度における学級数別学校数（中学校）

	1～5 学級	6～11 学級	12～18 学級	19～24 学級	25学級 以上	合 計
本 校 数	46	135	76	36	26	319
分 校 数	12					12
計	58	135	76	36	26	331
構成比	17.5%	40.8%	23.0%	10.9%	7.9%	100.0%

2 公立幼稚園の設置状況

公立幼稚園は年々新設され35年より39年までに10園の増加をみ、40年度は更に10園の幼稚園が増設した。このため幼児数は年々減少の傾向にあるが園児数は増加している。

	35 年	36 年	37 年	38 年	39 年	40 年
園 数	37	40	42	43	47	57
園 児 数	4,003	4,154	4,312	4,370	4,888	5,663
園児指数	100.0	103.8	107.7	109.2	122.1	141.5

3 小学校児童数・学級数の推移

小学校の児童数は昭和34年が最高で漸次減少している。しかし学級編制基準は1学級48人となったため、学級数の減少は比較的少ない。